

公益財団法人 京都健康管理研究会

事業報告書

令和元年度

(第67期)

(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

公益財団法人京都健康管理研究会は、地域住民だけではなく、広く一般住民の病気の予防・早期発見・早期治療を行い、健康増進、健康管理、社会福祉に貢献し、「健康の輪」を拓げるべく診療部・健康管理部の連携の下に、臨床研究センターを含め各種の事業を行い実績をあげてきた。以下、行った事業について部門別に記載する。

公益財団法人京都健康管理研究会（以下、本財団とする）は、令和元年度も、本財団定款に掲げる「公益性を重んじ、難病を始め、結核性疾患・生活習慣病・職業病・その他の疾病の予防、早期発見に関する調査研究並びに治療を含む医療に関し必要な事業を行い、以って広く国民の健康保持、増進に寄与・貢献することを目的する」を達成するために各事業を積極的かつ誠実に展開してきた。公益性を最重要とする事業目的に鑑み、難病、特に呼吸器系の難病を対象に、診療部はその管理・治療に、また、健康管理部も難病の早期発見を意識しての健康診断を進め、本財団一丸となって難病への対応に努め、さらに、地域住民に加え、広く市民の病気の予防・健康増進、健康管理、社会福祉に貢献し、「健康の輪」を広げるべく、診療部・健康管理部の連携の下に、臨床研究センターを含め事業を展開した。

いわゆる「働き方改革」の導入により、人員確保が難しい時代になってきた。医療機関もその例外ではなく、本財団も「短時間正職員」制度を積極的に取り組み、人員確保に努めた。また、医学研究分野や最新医療分野の高度分業化、医師を含む研究・医療従事者の高齢化等により医療機関は慢性的な人材難が続いている。この様な中、本財団が目的とする呼吸器系を始め、難治性疾患を対象とする専門の研究分野を志す医師等の人材を確保することが極めて困難なってきている。本財団の公益事業を継続していくためにも、本財団の目的に適う専門性の高い人材の確保は急務である。そのため呼吸器系はもとより、各領域での難治性疾患という専門分野を志す研究者や医師等、若手人材の育成が必須であり、その一助となるよう助成活動を進めて行く事が本財団の務めであろうと考えた。このため人材育成費の一部、研究機関や臨床研究に携わる医療機関、学会等へ研究費や運営費の一部、また、専門知識習得あるいは意見交換等、専門医や若手研究者の育成のための対象疾病情報の収集・情報交換、情報発信の場を広げられるようにすることへの助成を本財団の公益事業に加えられるよう、所管する京都府に公益事業の追加を申請し、本年度末に変更が認定された。このことにより、次年度には助成活動を定款に明文化し、公益に資する事業としたい。また、今期末には新型コロナ肺炎の世界的な流行したことにより、日本だけではなく、世界の経済活動にブレーキがかかり、極めて不安定な世界情勢となっている。特に、今期末、令和2年3月に入り、全国的に新型コロナの猛威が直撃し、日本を含む世界の社会活動が停止状態となった。これにより、本財団のような中小規模の医療機関にも甚大な影響を及ぼし、診療現場の混乱だけではなく、健康診断業務がほぼ全面休止状態となった。年度末であったことで本年度の決算への影響は軽微ではあったが、令和2年度については、全く予測がつかず、直接本財団の診療や経営に甚大な影響を与えるものと思われ、時々において重大な判断をしなければならない事態も想定され、極めて注意深く注視していかなければならない。

以下に平成元年度に実施した事業の活動を報告する。

～ 中央診療所 ～

【 診 療 部 】

診療部は、呼吸器系の難病あるいは全身性疾患、即ち、喘息、肺炎、間質性肺疾患（間質性肺炎、過敏性肺臓炎、膠原病肺）、サルコイドーシス、睡眠時無呼吸症候群、循環器、肝臓病、膠原病・関節リウマチ、神経疾患、消化器病、アレルギー性疾患など各専門医が診療を担当する専門外来の充実を図ってきた。特に、厚生労働省の特定疾患患者や在宅酸素療法患者の数が多のが特徴である。さらに、禁煙指導外来を設置し、薬物療法に加えて、禁煙指導という健康維持の基本を広い意味での治療として位置づけ包括的治療を実施した。ここ10年間に間質性肺炎への新しい治療薬の少量長期間投与による治療効果の臨床成績をまとめ、前向きの結果を出した。患者の高齢化に伴い、介護保険の有効利用により日常生活を支援するため、主治医意見書を作成している。更に、在宅医療医との連携を行い、診断や経過評価の長期フォローをはじめとして充実を図った。

また、健康管理部で病気の予防・早期発見を目的に行う健康診断において、要精査あるいは要治療と判定された受診者を対象に外来診療を、一連の健康診断の一環として継続して行い、成果を上げた。

加えて、前述した難病等を診療対象としたより精度の高い検査を迅速に実施するために、ここ数年でX線撮影装置のデジタル化及びCT撮影装置並びに精密肺機能測定装置、エコー診断装置等を順次更新し、より精度・技術の向上に努めてきている。

1. 外来患者数

令和元年度患者数（健康保険・自費）は17,085人（前年度17,385人、前年度比98.2%）であった。健康保険種別の患者数、健康保険診療患者の新患、再来数は表1に示した。

2. 社会福祉診療の状況

- (1) 低所得者、要保護者等の生計困難者に診療費の減免を行った。令和2年度の取扱件は1,625件（前年度1,773件、前年度比93.7%）で、診療費の減免額は1,824,440円（前年度1,722,420円、前年度比105.9%）であった。
- (2) 無料健康相談の取扱件数は79件（前年度99件、前年度比79.8%）であった。

【 健 康 管 理 部 】

健康管理部は、病気の予防、病気の早期発見を目的に、健康診断、健康指導を主とする事業を行った。加えて、契約企業の産業医としての産業医活動を行うとともに、講演会活動ならびに研修会へ職員を派遣し、健康管理に対する理解と知識の向上にも努めた。本年度は特に健診項目の簡易型から全項目実施型への移行や新規健診先事業所の獲得があり、増収に繋がった。また、新規導入した胸部 X 線デジタル車が本格稼働し、健診事業に大いに貢献した。ただし、令和2年3月度は新型コロナ蔓延の影響を受け、出張健診が無期限の延期等で収入が減少した。次年度への影響は甚大になるものと懸念している。

1. 健康診断

令和元年度健康診断（出張および来所）の実施件数を表2に示した。総数は92,491名（前年度93,875名、前年度比98.5%）であった。

2. 健康指導

(1) 産業医活動

中央診療所は各種事業所と産業医としての契約を結び、担当医師が定期的に出向き、職場の安全衛生管理、衛生教育、労働者の健康障害に対する対応等を行うとともに、事業主・衛生管理者に対しての指導・助言を行い、個人の健康相談にも応じた。

産業医契約状況（担当医師別）	事業所数
泉 孝英	11
大田高祐	18
長井苑子	6
荻野俊平	6
前田道之	1
松井祐佐公	1
	計 43

(2) 講演活動

- ・ 大田 高祐：石綿による健康障害．建設業労働災害防止協会京都府支部石綿主任講習会
（第1回）2019.4.24 京都
- ・ 大田 高祐：石綿による健康障害．建設業労働災害防止協会京都府支部石綿主任講習会
（第2回）2019.12.2. 京都

- ・ 大田 高祐：石綿による健康障害．建設業労働災害防止協会京都府支部石綿主任講習会
(第3回) 2020.3.5. 京都

～ 臨床研究センター ～

臨床研究センターは、診療所の健康診断受診者、患者を対象として、その得られた疫学成績や臨床成績の検討を行うとともに、成果を健康管理、診療の場にフィードバックすることを目的とした研究事業を行った。現在、主たる研究対象は喘息、COPD、サルコイドーシス、間質性肺炎、肺高血圧、膠原病等の各種疾患であるが、生活習慣病対策（脂肪肝・肥満）を含めての広範な研究を展開した。

難治性疾患の予防・治療・調査研究の一環として、本研究センターの主要対象疾患サルコイドーシス研究と関連して、サルコイドーシス/肉芽腫性疾患学会へ助成した。また、本財団中央診療所の最も中心的診療科目である呼吸器内科における学術研究を強力に支援するため、京都大学大学院医学研究科呼吸器内科講座に対して寄付を実施した。これらを更に発展、進化させ、本研究センターにおける研究や本財団で実施する公益事業の充実に繋げるために、本財団の公益目的事業に人材育成、情報収集の一助となる助成事業を加えることを目的に京都府へ変更認定を求める申請を行った。その結果、令和2年3月30日付で認可を受けた。これから益々本財団の事業が活性化するものと考えている。

1. 患者・一般市民に対する啓蒙活動、医師の勉強会

- (1) 第14回治療に関する患者・医療関係者交流会（在宅酸素療法，薬物，栄養，リハビリテーション）（平成31年4月20日、ハートピア京都）

講演：①「間質性肺炎への抗線維化剤ピレスパ治療10年間の成績

②「慢性の呼吸器疾患をもった高齢者の栄養管理」

③「在宅酸素療法医療チームからの伝えておきたいこと」

特別講演：

①「高齢者の身体的特徴と所見のつきあい方」

パネル討論

参加者：患者他42名、本財団スタッフ40名、計82名

- (2) 第18回健康塾（令和元年9月28日、ハートンホテル京都）

講演：①「人生100年時代の年金問題」

②「人生100年時代の外来風景」

参加：健診先事業所・一般 21 名、本財団スタッフ 44 名、計 65 名

- (3) 第 15 回サルコイドーシス，膠原病：患者・医療関係者交流会（令和元年 10 月 26 日、ハートピア京都）

講演：①「ステロイドの話 第 6 回」

②「本当はこわい下肢静脈血栓，動脈硬化」

③「痛みとのつきあい方」

パネル討論

参加者：患者他 71 名、本財団スタッフ 39 名、計 110 名

- (※) 第 19 回健康塾

令和 2 年 3 月 14 日開催予定であったが新型コロナウイルス感染症拡大により開催中止となった。

2. 研究業績

本財団職員が定款の目的を達するために、令和元年度に行なった研究の業績及びそれに係る刊行物は別紙 1 の通りである。

IV. 報告事項（その他）

1. 理事会及び評議員会の開催状況

令和元年度に開催した理事会及び評議員会審議事項及びその決議に従い行政庁等への届出事項は以下の通りである。

- (1) 令和元年 5 月 10 日：理事会

〈理事会審議事項〉

第 1 号議案：平成 30 年度（第 66 期）事業報告の件（理事会：承認）

第 2 号議案：平成 30 年度（第 66 期）決算報告（貸借対照表及び損益計算書）の件
（理事会：承認）

第 3 号議案：任期満了に伴う理事並びに監事候補者推薦の件（理事会：承認）

第 4 号議案：京都大学大学院医学研究科呼吸器内科学講座への寄付に関する件（理事会：承認）

- (2) 令和元年 5 月 31 日：定時評議員会

〈評議員会審議事項〉

- 第1号議案：平成30年度（第66期）事業報告並びに貸借対照表及び損益計算書について承認を求める件（評議員会：承認）
- 第2号議案：任期満了に伴う理事選任の件（評議員会：選任）
- 第3号議案：任期満了に伴う監事選任の件（評議員会：選任）
- (3) 令和元年5月31日：理事会
〈理事会審議事項〉
- 第1号議案：代表理事及び業務執行理事選任の件（理事会：選任）
- 第2号議案：顧問並びに参加選任の件（理事会：選任）
- (4) 令和元年6月25日：平成30年度（第66期）事業報告及び同決算書を行政庁（京都府）へ提出
- (5) 令和元年11月8日：理事会
〈理事会審議事項〉
- 第1号議案：令和元年度（第67期）事業の進捗状況及び上期決算報告（理事会：承認）
- 第2号議案：特定資産積立の件（理事会：承認）
- (6) 令和2年1月23日（決議があったと見なされた日）：理事会
〈理事会審議事項〉
- 第1号議案：京都府へ公益目的事業の変更申請を行うことの承認を求める件（書面持ち回り理事会：承認）
- (7) 令和2年3月19日：理事会
〈理事会審議事項〉
- 第1号議案：公益財団法人京都健康管理研究会の将来方針について（理事会：承認）
- 第2号議案：令和2年度（第68期）事業計画及び予算案の件（理事会：承認）
- 第3号議案：令和2年度定時評議員会開催日の件（理事会：承認）
- 第4号議案：市民講座協賛及び学会寄付の件（理事会：承認）
- (8) 令和2年3月30日：令和元年度（第68期）事業計画及び同予算書を行政庁（京都府）へ提出
- (9) 令和2年3月30日：公益財団法人京都健康管理研究会公益目的事業の変更の認定通知受領

2. 施設認定の取得状況

公益社団法人全国労働衛生団体連合会の労働衛生サービス機能評価認定（認定期間3年間：平成29年6月1日付）により認定適合機関の証を得ており、本年度も継続している。

3. 職員の研修状況

- (1) 下記の外部研修・講習：全衛連等の行う精度管理事業研修・講習に職員を参加させ、技術水準及び精度管理の向上に努めた。

4. 職員の研修状況

実施年月日	主催	会合名	出席	会場
R1.5.10	ニッソーメディカルシステムズ(株)	胃部読影施設見学説明会	1名	ニッソーメディカルシステムズ(株)
R1.5.24	京都労働局他	企業内人権啓発推進員研修会・学卒求人説明会	1名	ロームシアター京都
R1.6.13	公益社団法人全国労働衛生団体連合会	全衛連令和元年度通常総会	1名	浅草ビューホテル(東京)
R1.7.8	京都商工会議所他	京都経済センター開業記念講演会	1名	京都経済センター
R1.7.10	日立健康保険組合／一般社団法人労働保健協会	健診標準フォーマット導入等に関する説明会	2名	日立製作所関西支社(大阪)
R1.7.17	京都府保険医協会	医院・診療所での接遇マナー研修会	1名	京都府保険医協会
R1.7.18	公益社団法人全国労働衛生団体連合会	令和元年度第1回経営企画委員会	1名	全衛連(東京)
R1.8.3	公益社団法人全国労働衛生団体連合会	胃X線検査研修会	1名	三田NNホール(東京)
R1.8.3	大阪医用画像情報システム研究会	第9回大阪医用画像情報システム研究会	1名	西本町インテス(大阪)
R1.8.20	京都府公安委員会	安全運転管理者講習	1名	龍大響都ホール
R1.8.23	京都労働局	派遣先向け平成30年度改正派遣法セミナー	1名	京都テルサ
R1.8.24	日本消化器がん検診学会近畿支部	第48回日本消化器がん検診学会近畿地方会	1名	京都テルサ
R1.9.11	公益社団法人全国労働衛生団体連合会	労働衛生サービス機能評価実務責任者講習会	1名	三田NNホール(東京)
R1.9.13	全衛連近畿地方協議会	令和元年度第1回全衛連近畿地方協議会	1名	ホテルグランヴィア和歌山
R1.9.24	京都市保健福祉局	令和元年度たばこ対策支援者研修会	1名	職員会館かもがわ
R1.10.16	京都市人権啓発行政連絡協議会	令和元年度企業対象人権研修会	1名	京都市呉竹文化センター
R1.10.19	日本放射線技術学会	第47回日本放射線技術学会秋季学術大会	1名	グランキューブ大阪
R1.10.29	公益社団法人全国労働衛生団体連合会	全衛連創立50周年記念講演	1名	浅草ビューホテル(東京)
R1.11.8	国立病院機構京都医療センター臨床研究センター	京都市国民健康保険特定保健指導実務者研修会	1名	キャンパスプラザ京都
R1.11.16	日本放射線技術学会	第11回PACSベーシックセミナー	1名	大阪市立大学
R1.12.18	公益社団法人全国労働衛生団体連合会	選別聴力検査研修会	1名	大阪リバーサイドホテル

R2.1.10	京都銀行／京都総合経済研究所	2020年 新春経済講演会	1名	京都市勧業館
R2.1.18	フクダ電子京滋販売㈱	血圧脈拍検査基礎講習会	4名	TKPガーデンシティ京都
R2.1.23	フクダ電子京滋販売㈱	血圧脈波基礎講習会	1名	TKPガーデンシティ京都
R2.2.1	フクダ電子京滋販売㈱／日本不整脈心電学会	心電図講習会	2名	京都市国際交流会館
R2.2.8	関西医療情報技師会	関西医療情報技師会第35回勉強会	1名	キャンパスプラザ京都
R2.2.22	京都府保健事業協同組合	超音波セミナー 講演ライブ&実習 頸動脈と甲状腺コース	1名	京都府保健事業協同組合
R2.2.26	公益社団法人全国労働衛生団体連合会	令和元年度第3回経営企画委員会	1名	全衛連(東京)
R2.2.28	全衛連近畿地方協議会	令和元年度第2回全衛連近畿地方協議会	1名	ホテルグランヴィア和歌山

(2) 内部研修・講習

実施年月日	内容	出席者	会場
H31.4.16	ラウンジセミナー:喘息治療薬の新薬について学ぶ	所内スタッフ	中央診療所 2F外来待合
R1.5.14	ラウンジセミナー:疼痛緩和徐放製剤について学ぶ	所内スタッフ	中央診療所 2F外来待合
R1.5.21	ラウンジセミナー:喘息治療薬について学ぶ	所内スタッフ	中央診療所 2F外来待合
R1.6.11	ラウンジセミナー:長期間作用性吸入気管支拡張剤について学ぶ	所内スタッフ	中央診療所 2F外来待合
R1.7.10	ラウンジセミナー:COPD治療配合剤について学ぶ	所内スタッフ	中央診療所 2F外来待合
R1.10.8	ラウンジセミナー:リウマチの治療薬について	所内スタッフ	中央診療所 2F外来待合
R1.11.12	ラウンジセミナー:肺高血圧症について再度学ぶ	所内スタッフ	中央診療所 2F外来待合
R1.11.19	月例研修会:エネルギー問題と核融合ー将来のエネルギー源と核融合研究ー	所内スタッフ 一般受講希望者	中央診療所 5F研修会場
R1.12.10	ラウンジセミナー:高尿酸血漿治療薬	所内スタッフ	中央診療所 2F外来待合
R2.1.7	ラウンジセミナー:季節性アレルギー薬について学ぶ	所内スタッフ	中央診療所 2F外来待合
R2.1.14	ラウンジセミナー:経口抗菌剤	所内スタッフ	中央診療所 2F外来待合
R2.1.21	月例研修会:新春大晦「日本人とアメリカ人」	所内スタッフ 一般受講希望者	中央診療所 5F研修会場
R2.2.4	ラウンジセミナー:抗インフルエンザ薬について学ぶ	所内スタッフ	中央診療所 2F外来待合

R2.2.18	ラウンジセミナー:抗アレルギー薬について学ぶ	所内スタッフ	中央診療所 2F外来待合
R2.3.10	ラウンジセミナー:ぜんそく治療薬	所内スタッフ	中央診療所 2F外来待合
R2.3.26	心臓検診説明会	所内スタッフ 一般受講希望者	中央診療所 5F研修会場

4. 職員の公的業務の活動状況

〈泉 孝英〉

- ・京都府医師会京都内科医会理事
- ・公益財団法人安田記念医学財団理事
- ・社会福祉法人友々苑監事
- ・特定非営利活動法人成年後見センターもだま理事

〈長井苑子〉

- ・日本サルコイドーシス/肉芽腫性疾患学会副理事長
- ・日本内科学会近畿地方会評議員
- ・京都産業推進センター相談員

〈大田高祐〉

- ・京都府医師会産業医部会幹事会委員
- ・京都 YMCA 国際福祉専門学校校医
- ・近畿財務局京都事務所健康管理医

〈倉迫和幸〉

- ・公益社団法人全国労働衛生団体連合会理事

5. 職員数と収入状況

表3に令和元年度の常勤・非常勤職員数状況を、表4に職員数と収入の現況を表した。

6. その他本財団の目的達成に必要なと認める一切の事業

(1) 今年度の設備投資について、

今年度は、健康診断業務の基幹システムである TAK 総合健診システムを、旧バージョンの OS (WINDOWS 7) サポート終了に伴い新バージョン版へシステム更新した。出張健診スタッフ用のワゴン車を昨年度に続き同型の2台目を導入した。診療部関係(医科器械)について大きな投資項目はなかったが、年度末に次亜塩素酸水生成装置を購入し、コロナ禍が深刻化する中、フル稼働状態にある。

- (2) 事業年報について内容の一層の充実を図り、今年度も予定どおり刊行した。
- (3) 今後の事業基盤の充実を図るため、事業基盤である医科機械や検診車の更新に備え、特定資産の積み増しを行った。
- (4) パートタイム労働者の正職員（短時間正職員）化によって要件を満たすこととなった2名につき、キャリアアップ助成金の交付申請を行い、承認を受けた。
- (5) 公益目的事業の追加申請を行った。

本財団の公益目的事業に人材育成、情報収集の一助となる助成事業を加えることを目的に京都府へ変更認定申請を行った。その結果、令和2年3月30日付で変更認定を受けた。来期も更なる発展に努める。

以 上

(文責：理事 高嶋 彰)

(別紙1) 業績一覧

(1) 学会発表等

- ・ 長井苑子、谷澤公伸、半田知宏、久保 武、北市正則、泉 孝英 特発性肺線維症の抗線維化薬ピルフェニドン初期量による長期治療 第59回日本呼吸器学会学術講演会 2019.4.12 東京

(2) 原著

- ・ Tanizawa K, Handa T, Nagai S, Oga T, Kubo T, Ito Y, Aihara K, Ikezoe K, Sokai A, Nakatsuka Y, Hirai T, Chin K, Mishima M, Izumi T. Can the Sarcoidosis Health Questionnaire predict the long-term outcomes in Japanese sarcoidosis patients? *Respir. Med.* 149:1-8. 2019
- ・ Nakatsuka Y, Handa T, Nakashima R, Tanizawa K, Kubo T, Murase Y, Sokai A, Ikezoe K, Hosono Y, Watanabe K, Tokuda S, Uno K, Yoshizawa A, Tsuruyama T, Uozumi R, Nagai S, Hatta K, Taguchi Y, Mishima M, Chin K, Mimori T, Hirai T. Serum matrix metalloproteinase levels in polymyositis/dermatomyositis patients with interstitial lung disease. *Rheumatology (Oxford)*. (in pub.) 2019

(3) 編著

- ・ 泉 孝英編：外来診療ガイドライン2020. 日経メディカル開発. 東京, 2020

(4) 分担執筆

- ・ 泉 孝英：COPD(慢性閉塞性肺疾患). 泉 孝英編：外来診療ガイドライン2020. p.65～p.71. 日経メディカル開発. 東京, 2020
- ・ 泉 孝英：図説平成時代における医療の進歩 泉 孝英編：外来診療ガイドライン2020 p.684～p.689 日経メディカル開発. 東京 2020
- ・ 泉 孝英：明治期ベルリン大学外科に学んだ日本人留学生 啓迪 34:29-41 2020

(5) その他執筆

- ・ 泉 孝英：久保 裕先生と私 一序文にかえて— 久保 祐：喘息百話I～VI 喘息フォーラム 2019
- ・ 泉 孝英：失われた社会保障 一喫茶店物語— 中東医報 45:58-59, 2019

(6) 講演・講義

- ・ 長井苑子 間質性肺炎への抗線維化薬ピレスパ治療10年間の成績報告 第14回治療に関する患者医療関係者交流会 2019.4.20 京都
- ・ 長井苑子 慢性喫煙とCOPD アストラゼネカ社内研修会 2019.6.13 京都

- ・ 長井苑子 人生百年時代の外来風景 第18回健康塾 2019.9.28 京都
- ・ 長井苑子 ステロイドの話(第6回) 第15回サルコイドーシス、膠原病：患者医療関係者交流会 2019.10.26 京都